

当院に受診中の患者さんへ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在、臨床検査技術部では、下記の臨床研究を実施しております。

この研究では、患者さんの日常診療で得られた試料・情報を利用させていただきます。

ご自身の試料・情報がこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、試料・情報の利用を停止することができます。ただし、すでに研究結果の解析が終了し、公表されている場合などに、あなたの情報のみを取り除くことができない可能性もあります。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身の試料・情報がこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名

Peripheral neutrophil nuclear protrusions and abnormal chromatin clumping as useful diagnostic markers for myelodysplastic syndromes

骨髄異形成症候群の有用な診断マーカーとしての末梢好中球核突出と異常クロマチン凝集

●研究の目的

骨髄異形成症候群に罹患中の患者さん、また急性骨髄性白血病・急性リンパ性白血病・その他非血液疾患の患者さんを対象に、通常の診療で得られた試料・情報を収集・解析することにより、MDSの診断の効果および安全性を評価し、より良い診断法・早期治療導入へのフローを確立することを目的としています。

●対象となる患者様

2016年4月1日から2018年3月31日の間、当院を受診され、骨髄異形成症候群、また急性骨髄性白血病・急性リンパ性白血病・その他各種貧血の診断を受けられた患者さん

●研究予定期間：2025年3月31日まで

●研究機関の長：神戸市立医療センター中央市民病院 病院長 木原康樹

●使用させていただく試料・情報

・病名、重症度：症例は非血液疾患20例、不応性貧血以外（鉄欠乏性貧血・溶血性貧血等）10例、固形癌10例、AML-MRC以外のAML10例、ALL7例、MDS-SLD/MLD10例、MDS-EB10例の計77症例

・臨床検査値：末梢血液（通常の採血で採取する血液）の塗抹標本

●個人情報の取り扱いと倫理的事項

研究に利用する試料・情報は、患者さんを直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除し加工しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。

この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり加工していますので、患者さんのプライバシーは守られます。

なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て、病院長の許可のもと実施しています。

●研究機関および問い合わせ先（当院の連絡窓口）

神戸市立医療センター中央市民病院 臨床検査技術部 輸血検査管理室

研究責任者 吉田 昌弘

住所：神戸市中央区港島南町2丁目1-1

電話：078-302-4321

2024年12月24日作成 第1.0版